

十年後の将来のために  
街をつくり込むなんて手に余る

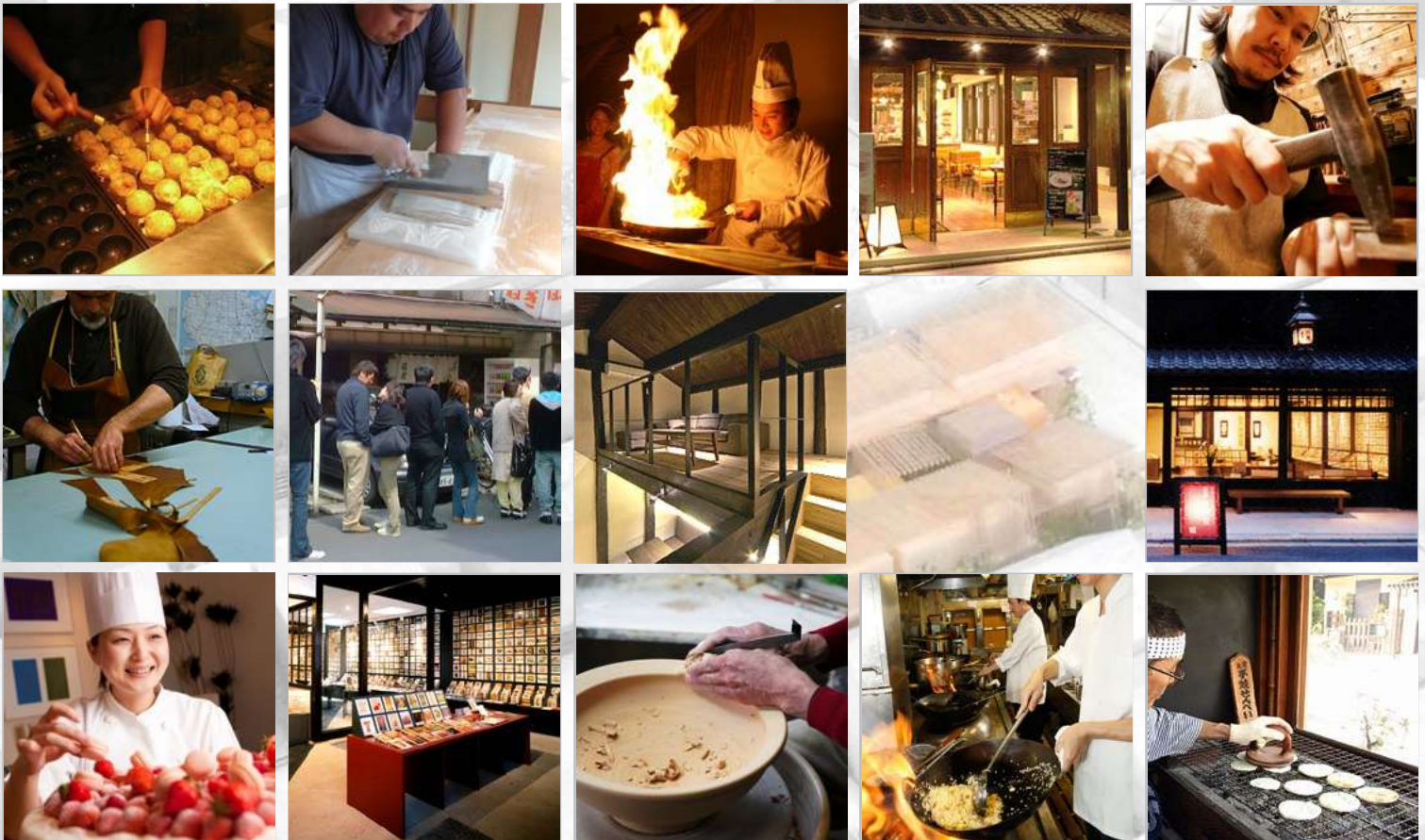
今、この瞬間の風を感じ、流行を横目に  
この時代の笑いを、涙を、五感で感じて  
この時代の街をつくり込む  
スピード感、手遅れになる前に・・・

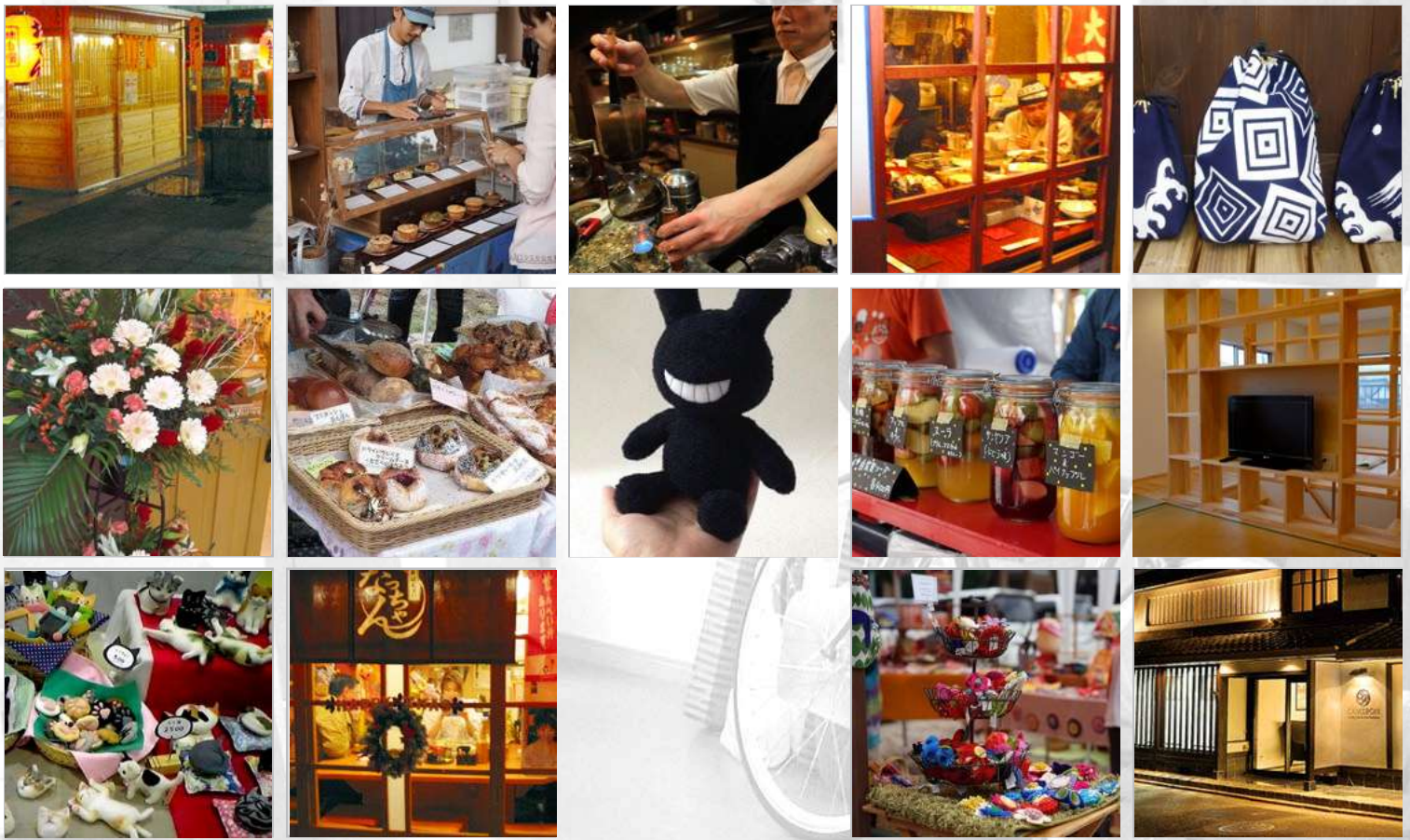
街にぽつりぽつりと空き家や空き地  
ほってはおけない街の虫食い  
街の楽しさ、おもしろさが虚無感に取って変わられる前に  
知恵を絞ってリノベーション  
街人主役のリノベーション  
知恵も汗も、集まってこそ力になれる  
リノベーションファンドだってやってみる価値がある  
そんな想いを形にし現実化をめざす「まちづくりマネジメント」

俺だって一国一城の主をめざしたい！  
その思いつき、捨てるには惜しすぎる！  
あんな商売、こんな商売やってみたい！  
街のちっちゃなお店、開店応援団！

田舎に移住するって何も隠居暮らしする事だけじゃない  
都会の片隅より、秋田のビジネスチャンス  
そんな一国一城の主をめざす、めざせる技人を  
全国から秋田に呼ぼう！

一家四人がその日から住める、すぐにお店の準備が出来る  
引越から、開店までを徹底サポートする  
「まちづくりマネジメント」





Our Mission 3 [街なか創業支援]

俺が育てたこの野菜を秋田で売りたい！  
こんなサービスがあればみんな利用するんじゃない！  
この腕でお客さんに「旨い」と言わせてみたい！  
これ素敵、部屋に飾りたいと思わない！  
その思いつき、捨てるには惜しすぎる！  
街のちっちゃなお店、开店応援団！

秋田の起業をしっかり支援  
行政の応援や補助金を繋ぐ！手続き応援！  
「まち楽ファンド」でさらに開業しやすく  
開業の大変さを・・・本業にしっかり精を出せるよう！  
成果が出せるよう！応援してこそ街づくり  
商店街起業・商店街移住徹底応援「まちづくりマネジメント」  
小さな商売が生き活きる街めざして

街は、がやがや、わいわい、笑顔がはじけてこそ街

にぎわいづくりのお手伝い

一人で出来ないことも、二人なら出来るかもしれない

二人でも無理なら、大勢でお手伝い

大勢の人々が、いろいろ関わりにぎわいづくり

補助金の活用から、仕込みのお手伝い

大切な街のお金の有効活用お手伝い

わくわくすれば人が集まる、

話題の輪が出来れば、みんな気になる

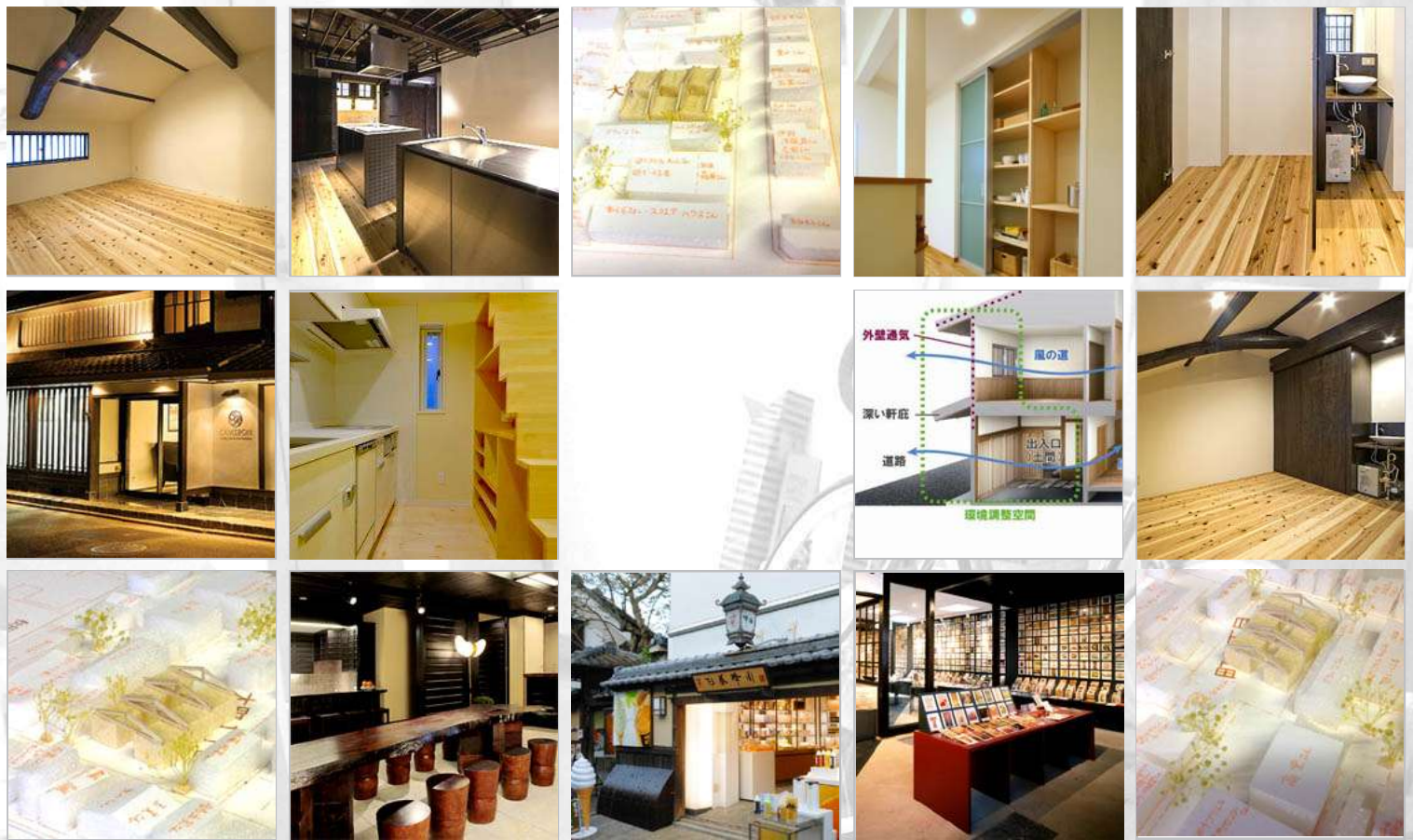
気になるところからお金の循環が始まる

街にわくわくの循環を

商店街イベント・お祭り徹底応援「まちづくりマネジメント」

あれ無理、これ無理、無理の悪循環から飛び出すお手伝い





Our Mission 5 [秋田町屋開発]

北前船の昔から、秋田は日本海海道の一拠点、  
湊や佐竹城下の商人街筋、  
昔の商家は随分見掛けなくなったが  
今だから、町で稼いで町に住む「秋田町屋」

京に京町屋があるように  
秋田に「秋田町屋」があっていい  
町でくらす新しいライフスタイル提案型  
店舗付住宅「秋田町屋」をつくろう  
秋田には秋田杉という素晴らしい素材があるのだから

訪れる人をわくわくさせ、窓の明かりが温もりを届ける  
古びるほどに味わいを増し、時間の重みを飄々と超えていく  
住居は現代のライフスタイルを生かしつつ  
そんな街並みの連続こそ町のにぎわい風景の原点

## 事業スケジュール(予定を含む)

～2016.3 ①まちづくり会社の設立内容と大町魁跡地の開発可能性整理  
②地域ニーズを活かした「秋田町屋」の基礎整理  
③商売移住希望者の可能性

2016.4～11 中小機構補助調査事業「大町さきがけ跡地活用構想」実施  
2016.12 秋田市中心市街地活性化事業の事業認定

2016.12 《まちづくり会社》設立

## 設立趣意

### まちづくりマネジメント株式会社

商業の郊外化、流通の合理化の荒波の中、日本全国の市街地商業が追いつめられていったように、秋田市中心部はもとより、にぎわいの核となるべき市街地の商店街はなすすべもなく凋落の一途であった。各商店街の先達の努力、行政各機関による様々な支援・保護政策はその凋落を一定先延ばしをなしえたが、それが街の「にぎわいの核となるべき市街地の商店街の復活」にはほど遠い現状である。

一方、そうした逆境の中において、市街地商業の復活を願い、商店街こそが、街の「にぎわいの核」となるべき事を願い、信じ、そうした試みに多くの時間、能力を注ぐ仲間が、未だ決して少なくない事は幸運である。

ここ十数年、秋田の中心市街地大町地区においても例外では無く、大型店の撤退、設備の郊外移転により、空地が目立ち、街のにぎわい・華やかさを大いに削ぐ結果となった。

しかし、これを時代の趨勢と受認するか、これを未来への希望の萌芽とするか、この意識の差は将来を考える上で巨大な差を生むことと想定される。この数年をいかに未来を捉える上で重要な時と捉えるか、この数年どれだけの知恵と工夫を街に注ぎ込めるかは、未来の中心市街地を語る上で極めて重要な数年となる事は間違いない。

今、大町の商業開発の種地となりうる市有地がここにあり、ここにその空間の未来像構築に並々ならぬ関心と情熱を向ける仲間がいる。

今、この一瞬を大きな契機としたい。

ここから市街地の「にぎわいの核」となるべき商業集積の萌芽を紡ぎだしたい。

故に、今ここに「街づくりを街人の手で強力でマネジメント」出来る会社設立を宣言し、多くの賛同者に参加いただき、秋田の中心市街地に「街づくりのサイクル」を生み出したい。

本会社は、これまでのアマチュア的、ボランティア的街づくり参加の制約を排し、組織としての求心力を発揮し、行政の支援と共に、限られた資源・時間での具体的目標達成を一義とする。大勢の市民の笑顔が見える街の空間を強力でマネジメントすることに全力傾注できる行動組織として街の活気を支える様々な具体的側面、街の日常環境づくりはもとよりイベント、街の文化、商売、暮らし、街の形成に積極的に関わり、牽引出来る人材の活用、育成を追求し、様々な経験、関連情報を蓄積し、将来のさらに多様なニーズに即応できる組織作りを追求する。

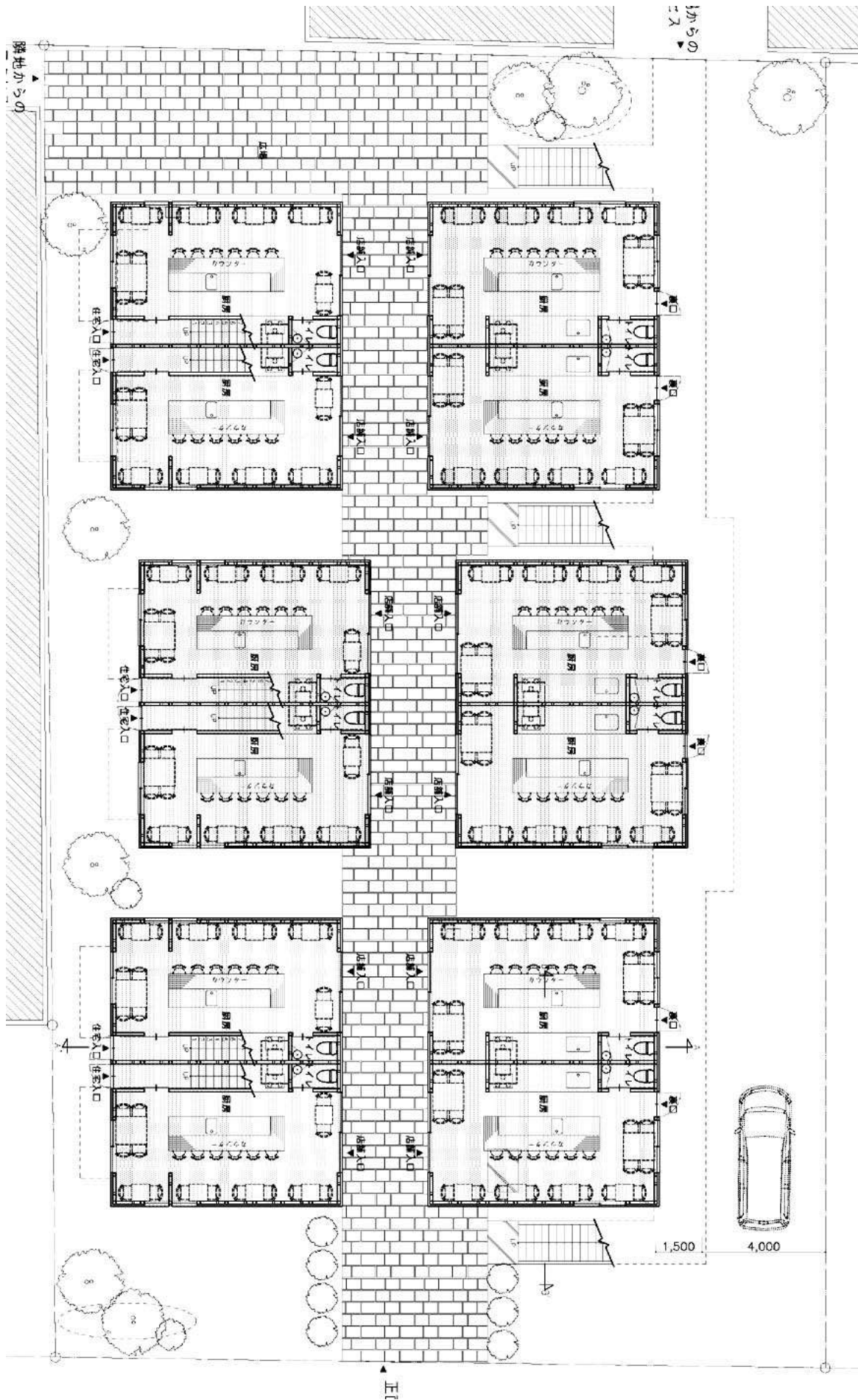
安倍内閣の地方創世は担当省も出来、首都圏と地方の経済・人口格差是正は国家的目標となりつつある。

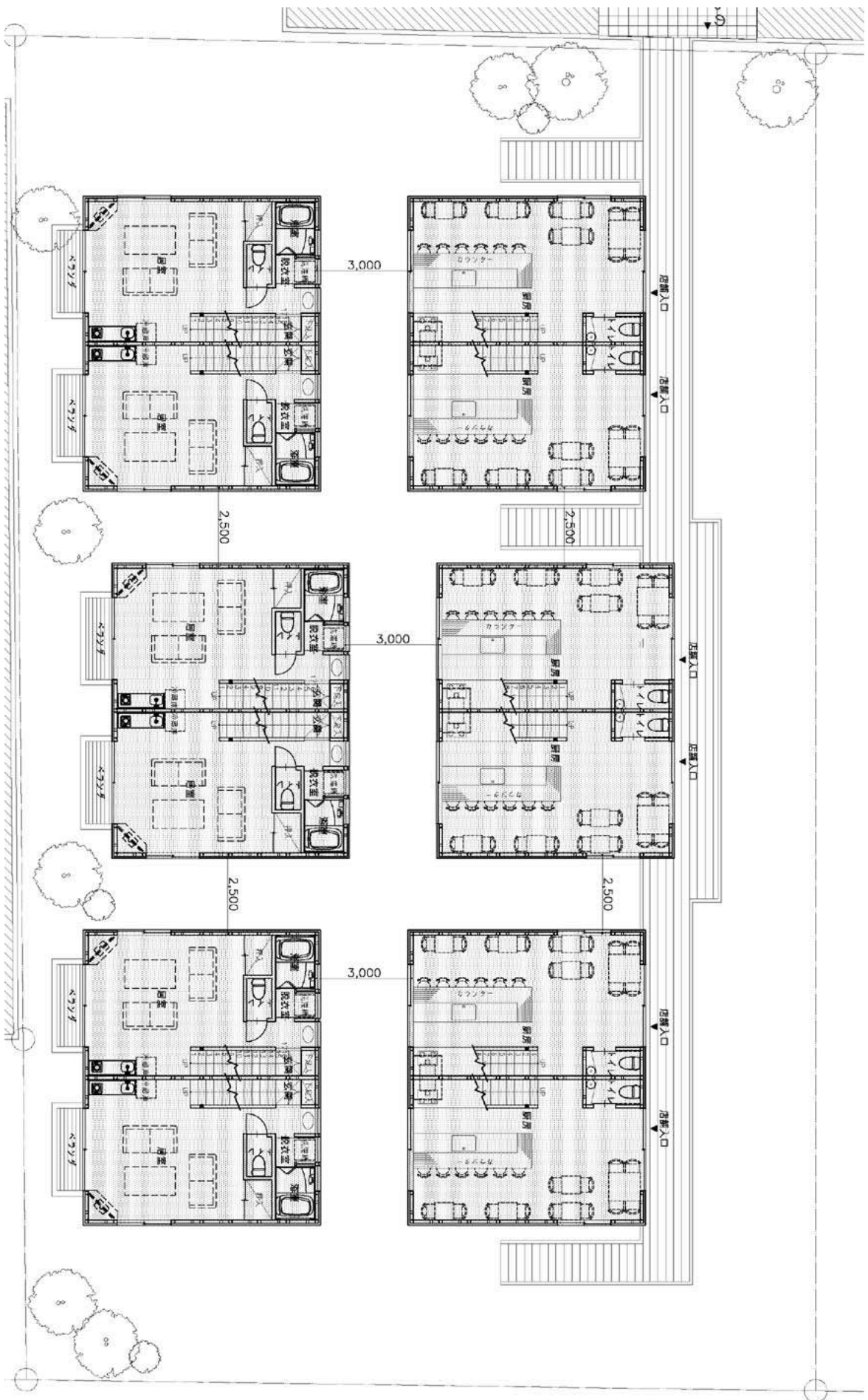
しかし現状の移住促進策は1次産業人口減少への対応策という側面が強い。

しかし1ターンは農業志望者だけのものではないはず、かつて終戦直後の復員軍人を主とした人口移動期には確かに農村が多くの役割を果たしたことを否定しないが、一方、闇市から始まり、戦後の商店街形成期において、復員した軍人はもとより、地方から就職列車で都会を目指しながら離職していった多くの若者を受け入れたのが当時の商店街であり、そうした人口異動期に柔軟に人々を受け入れる器としての機能が商店街には求められていた。

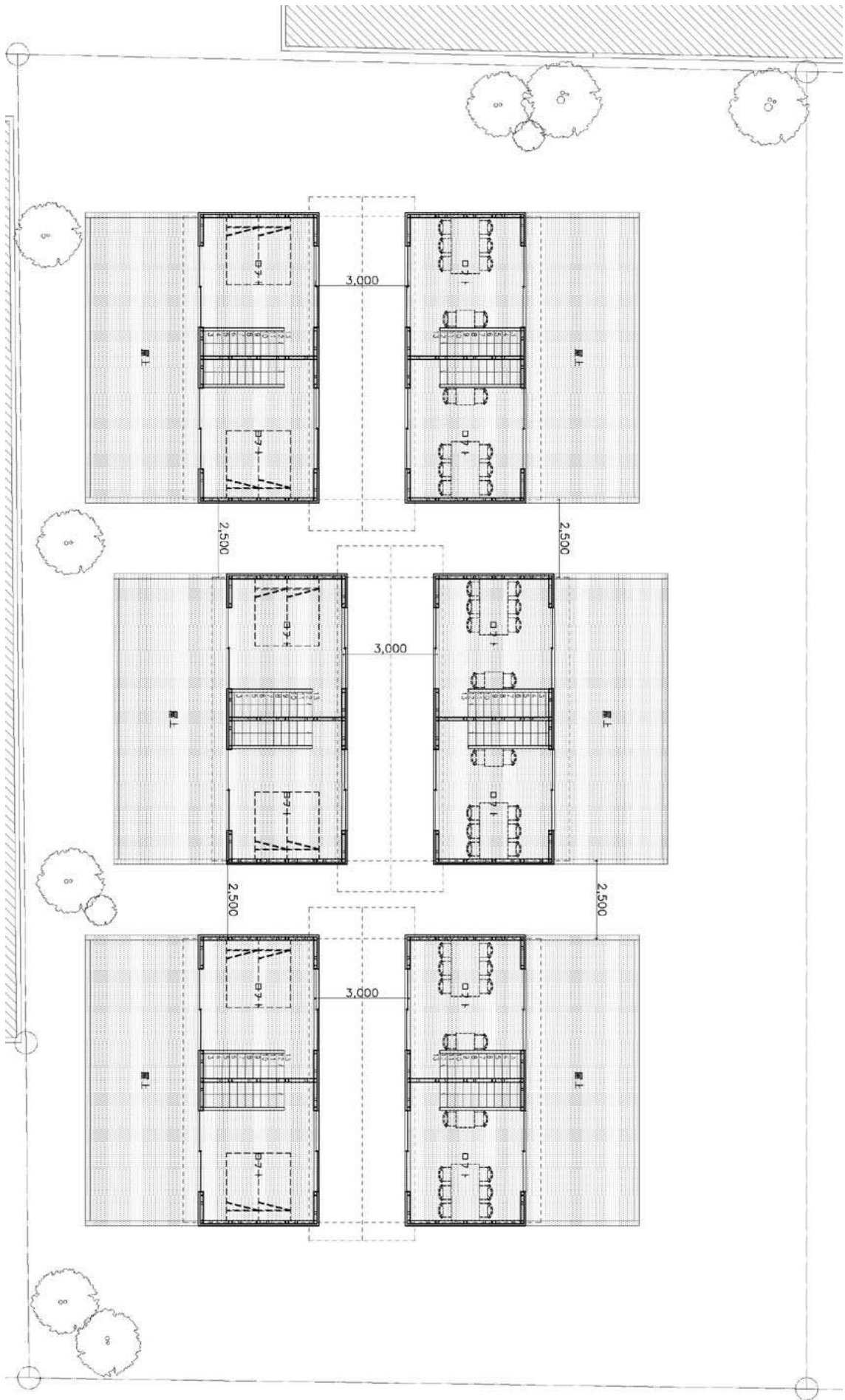
人口減少が街の存続を脅かす現在にあっても、第1・2次産業が就業人口吸引力を大きく減らす中、将来的に街が生き残るためには、そうした人口流動の可能性を街が受けとめ、街の経済循環の中に取り込む、知恵と工夫が街を存続させる大きな力となると信じるし、それこそが「にぎわいの核となるべき市街地の商店街の復活」の鍵ではないか、それを実現するためにも本会社を有効に機能させたい思いが募る。

敬 具

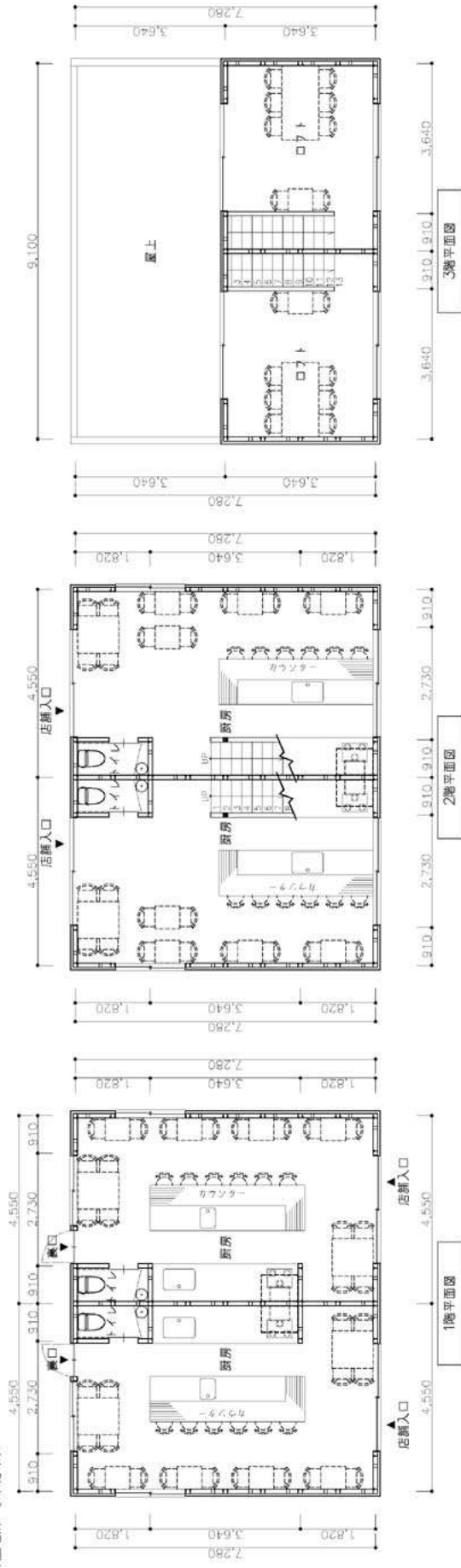




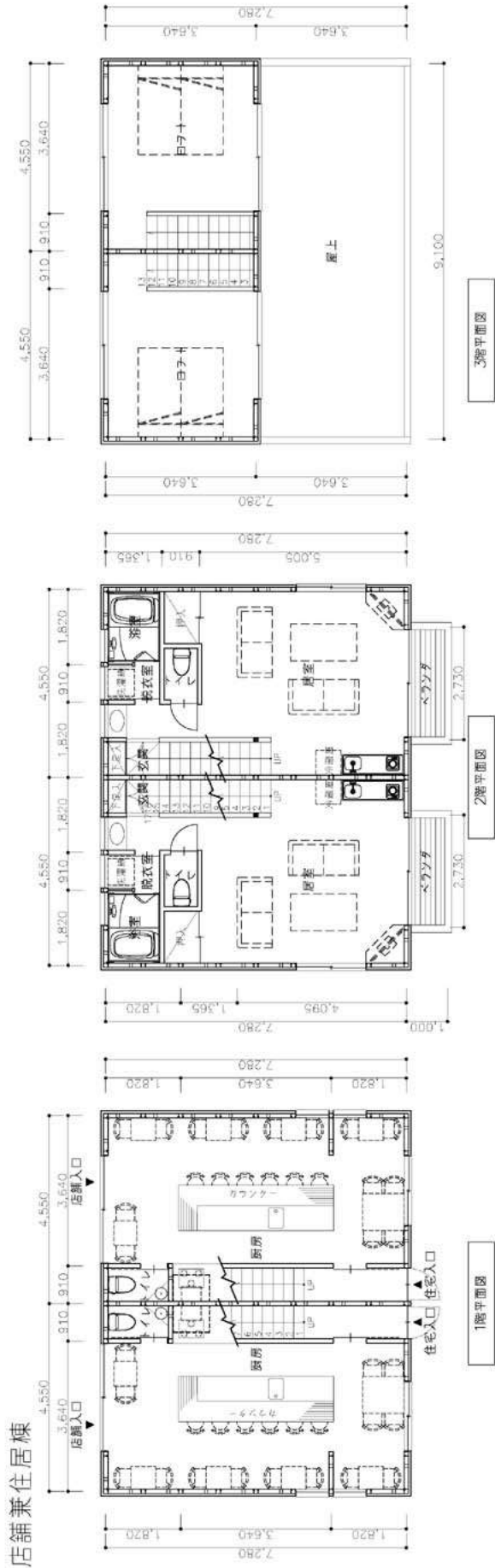


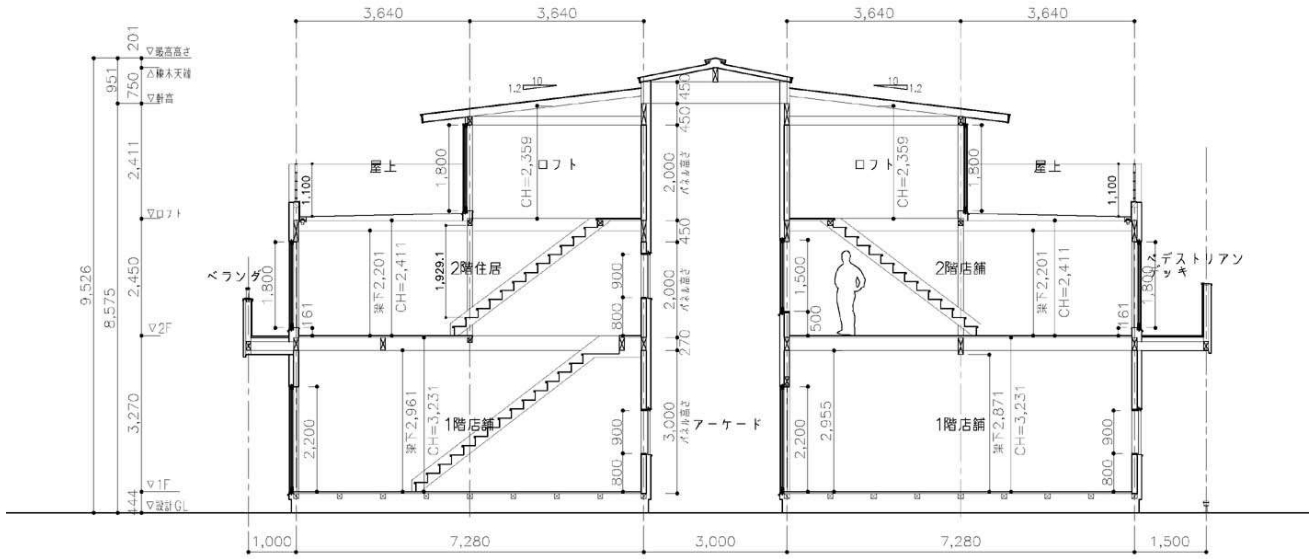


店舗専用棟

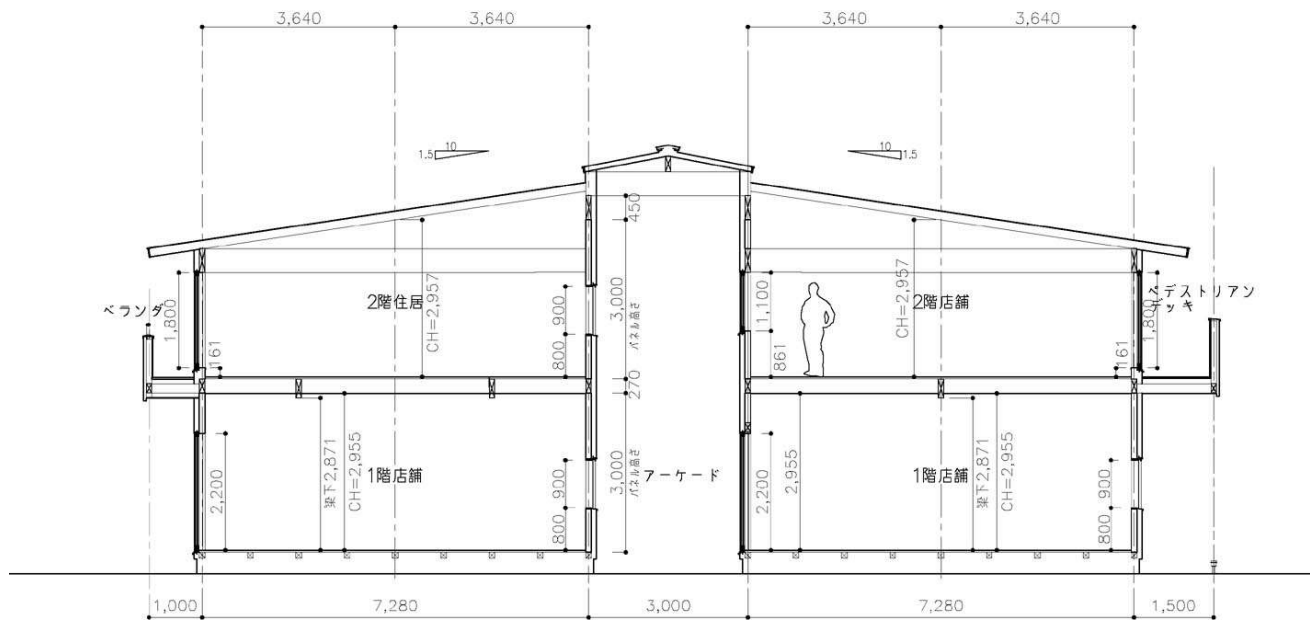


店舗兼住居棟





A-A断面図



A-A断面図



参考写真



